

## 実践報告資料

人権課題（情報モラルの学習等を通じて思いやりの心を育て、人権意識を高める）

研究内容【①）、（2）、（3）、（4）】

研究テーマ『共に認め、高め合う集団づくり』

学校名（豊岡市立但東中学校）

**ア 人権教育としてのねらい**

- ・ 規範意識に基づいて責任を果たす態度、他人の立場に立って考え行動する力を育てる。
- ・ 「情報モラル」の学習に焦点を当て、生徒に思いやりの心を育み、人権意識を高める。

**イ 研究の概要**

年間計画にもとづいて、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の4領域で指導内容や指導方法の工夫を図り、研究テーマを共通理解しながら実践を進める。また「表現力の育成」をテーマとする校内研修との連携も強化し、学習規律の徹底、表現力や発表力、コミュニケーション能力の向上、自主性を尊重した指導方法の工夫等、指導方法の改善・充実を図りながら研究を推進する。

領域	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	技術担当	1年生担任	1年生担任	1年生副担任
実施日	6月～9月	10月1日	11月～12月	6月～10月
取組名	情報モラルとネチケット	信頼できる友達づくり	情報モラル標語づくり	情報モラルについて学ぶ
目標	情報モラルについての学びを深める。 伝える力、発表する力を育てる。 思いやりの心を大切に相手の立場に立って考え行動する力を培う。	メールに対する価値観の違いを理解し、共によりよく生活しようとする態度を育てる。 豊かな人間関係を築くための資質、技能を身につけさせる。	インターネット上のトラブルやいじめに関心を持ち、人権尊重の視点に立って、よりよい利用の仕方や注意点について自ら考えようとする態度を育てる。	情報社会の特性を知り情報を大切にする態度や危険回避、セキュリティについて学ぶ。 人権の視点に立って情報モラルを守ろうとする力を育てる。
資料名	情報モラルとネチケット	「秘密にしたかったのに」	「ソーシャルサイトのリスク」（講演） 新聞記事	情報モラルクイズ、ポスター、ビデオ劇等の作成
指導内容や指導方法の工夫等	「技術」の授業で学んだ「情報モラル」や「ネチケット」についてグループごとに要点をパワーポイントにまとめさせる。 まとめたものが、聞いている人によくわかるように工夫させ、生徒相互に評価させる。 数グループが全校生徒の前でプレゼンテーションを行い、全校生で人権や「情報モラル」について学ぶ機会を設ける。	生徒が主人公の心情にそって多様な意見を出せるようにワークシートの設問を十分に吟味して授業を進める。また主人公にメールの返事を実際に書くことで思いやりの気持ちや相手の立場に立つことの大切さを体験させる。 校内研修で共通理解した「発表の仕方」「話し合いの仕方」「まとめ方」等に従って生徒の思考や道徳的心情が深まるように工夫する。	標語をいきなり考えさせるのではなく、インターネット上でのいじめやトラブル等の事例についての講演を聴かせる。 新聞記事を使ってラインやネット依存の問題についてグループで話し合い、意見を交流させることで考えをさらに深め、「人権」に焦点を当てながら情報モラル標語を考えさせる。	「情報モラルクイズ」の学習をふまえ、班ごとに情報モラルを啓発する活動に取り組みさせる。グループごとにテーマを決め、(ポスター、リーフレット、CM、ビデオ劇)制作を進める。 学校行事等を利用して保護者や地域の方々に参観していただき、感想を書いていただくなど、地域全体で人権意識が高まるようにする。

